

タスマニア重要鉱物 プロスペクタス





伝統的土地所有者への敬意

本書は、この土地の伝統的所有者であるタスマニアのアボリジナルの人々を認識するとともに、過去および現在の長老の方々に深甚なる敬意を表するものです。長老の方々は、タスマニアにおけるアボリジナルの人々の知識、記憶および文化を継承・保持されています。

写真クレジットおよび謝辞

本冊子で使用されている画像は、それぞれの著作権所有者に帰属します。画像の特定および著作権者の明示については、可能な限り万全を期しておりますが、万一誤り等が確認された場合には、所管部局までご連絡ください。

画像提供：Tasmanian Government、Alastair Bett、Grange Resources Tasmania、Vestas Granville Harbour Operations

© State of Tasmania November 2025

目次

大臣による序文	4
重要鉱物	6
タスマニアの重要鉱物とその用途	8
タスマニアの鉱物資源の豊かさ	9
タスマニアの重要鉱物および戦略的素材資源	10
競合前データセット	12
資源管理と持続可能性	13
循環型経済における新たなイノベーション	14
インフラ	15
州内加工	16
協業およびパートナーシップ	17
投資を支援する政府体制	18
個別支援による事業開始	20
連絡先	23



大臣による序文

タスマニアには、長い歴史と活発な活動を誇る鉱業産業があり、さらに将来に向けた数多くの有望な新規機会が控えています。鉱業はタスマニア経済の基盤であり、スズ、銅、金といった豊富な鉱床から、世界水準の亜鉛や鉄鉱石の生産に至るまで、この分野は地域の雇用やインフラを支えるだけでなく、産業全体におけるイノベーションと持続可能性を牽引しています。

タスマニアはオーストラリア大陸の南に位置する島嶼州で、多様な地質構造と豊かな鉱物資源を有しています。再生可能な水力発電を基盤とし、プレミアム輸出品の産地であると同時に、科学研究とイノベーションの拠点として世界的に認知されています。

近年、タスマニアは重要鉱物分野において注目すべき存在として台頭しており、世界的な需要は急速に拡大しています。タングステン、レアアース、シリカといった重要鉱物は、防衛用途を含む先端技術の開発に不可欠です。

航空宇宙や海軍プラットフォームに使用される高性能合金から、レーダー技術や通信に不可欠なレアアースに至るまで、タスマニアの資源は、基幹産業を支える革新的技術の開発において重要な役割を果たすことができます。

100年以上にわたる鉱業の歴史を有するタスマニアは、成長、イノベーション、そして長期的投資にとって理想的な土地です。また、タスマニアは他のオーストラリアの州・準州とは一線を画す再生可能エネルギー優位を保っており、オーストラリア全国で初めてネットゼロ排出を達成し、発電能力の100%を再生可能エネルギーで賄っています。これにより、タスマニアにおける鉱物プロジェクトは、環境の持続可能性および高い環境・社会・ガバナンス (ESG) 基準を実証しています

タスマニア州政府は、鉱業分野における付加価値投資の確保に強く取り組んでいます。本州で事業を展開する将来の投資家や企業が成功することを、私たちは心から望んでいます。

そのため、州政府はサプライチェーン・インフラへの投資、世界水準の競合前データセット、支援に積極的な政策環境、堅牢な許認可プロセス、そして産業・政府・研究機関が緊密に連携する強固なネットワークを提供しています。

今こそ、急成長を遂げるタスマニアの重要鉱物分野に投資する絶好の機会です。私たちはビジネスの機会を歓迎するとともに、雇用創出、技術革新、経済成長を促進するプロジェクトに取り組む投資家の皆様に全力で支援していきます。

フェリックス・エリス

ビジネス・産業・資源大臣

重要鉱物

重要鉱物とは、ジオサイエンス・オーストラリアにより、「現代の技術、経済、または国家安全保障にとって不可欠である一方、供給網が脆弱であり、その入手可能性が脅かされるおそれのある元素」と定義されています。¹ 重要鉱物への関心が高まっている背景には、再生可能エネルギー・インフラの拡大や、その他の技術革新に対する需要の増加があります。こうした流れの中で、重要鉱物はオーストラリア国内のみならず、世界的にも探鉱事業者や開発事業者にとって主要な注目分野となっています。

また、戦略的素材は、再生可能エネルギーへの移行や将来技術にとって重要である点では共通していますが、現時点では供給網に重大な脆弱性が認められていない素材として位置付けられています。本書では、重要鉱物および戦略的素材の両方を対象としています。

複雑かつ多様な地質環境のタスマニアには、数多くの重要鉱物および戦略的素材が存在しており、これらは以下を含む将来志向型産業において重要な役割を果たすと見られています。



各国は、それぞれの政策上の優先順位、資源へのアクセス、ならびに市場ニーズに基づき、重要鉱物および戦略的素材のリストを独自に策定しています。

オーストラリア政府も、自国の重要鉱物および戦略的素材リストを定期的に更新しており、以下のウェブサイトを確認することができます。

www.industry.gov.au/publications/australias-critical-minerals-list-and-strategic-materials-list

タスマニア州政府は2024年に「重要鉱物戦略 (Critical Minerals Strategy)」を策定し、地質条件、インフラ、クリーンエネルギーといった強みを最大限に活用することで、タスマニアにおける持続可能な重要鉱物産業の成長を目指しています。

タスマニアにおける定義済み資源量を有する重要鉱物*

ケイ素 (シリコン)	レアアース (希土類元素)
タングステン	フッ素
ニッケル	マグネシウム
チタン	ヒ素
ジルコニウム	コバルト
ゲルマニウム [^]	バナジウム
インジウム [^]	ビスマス

タスマニアにおいて経済的ポテンシャルが実証されている重要鉱物*

アンチモン
ガリウム[^]
白金族元素
クロム

タスマニアにおける重要鉱物の賦存が確認されているもの

モリブデン
リチウム
ニオブ
セレン
タンタル
テルル
スカンジウム

タスマニアの戦略的素材

亜鉛
スズ
銅
アルミニウム
リン

* 副産物および共産物を含む
[^] 加工工程における副産物

1. <https://www.ga.gov.au/scientific-topics/minerals/critical-minerals>

タスマニアの重要鉱物とその用途

1 タングステン



建設資材、弾薬、航空宇宙分野

2 ケイ素(シリコン)



太陽光パネル、電子機器、マイクロチップ

3 ニッケル



航空宇宙、医療、海軍艦艇

4 コバルト

水素燃料電池、ジェットエンジン、バッテリー

5 フッ素

推進システム、電子機器、バッテリー

6 レアアース(希土類元素)

永久磁石、防衛技術、電気自動車

Dolphin
タングステン

2 Blackwater
ケイ素(シリコン)

Avebury*
ニッケル

5 Moina
West Skarn
フッ素

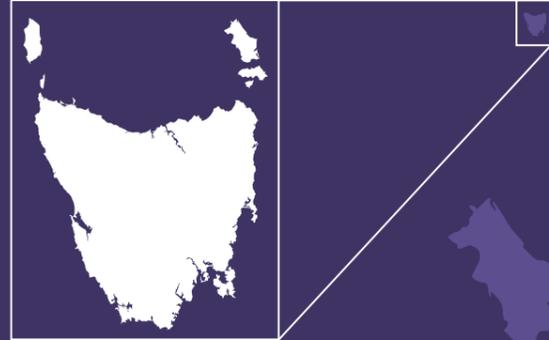
4 South Dora Mining
コバルト

6 Deep Leads
レアアース
(希土類元素)

● 鉱山操業中

□ 鉱物産出地点 ▲ 定義済み資源量

* 保守・維持管理段階



タスマニアの鉱物資源の豊かさ

タスマニアは、原生代から新生代に至る年代の岩石が分布する、非常に複雑な地質構造を有しており、オーストラリアでも最も鉱物資源に恵まれた地域の一つとしての地位を確立しています。

この地質的複雑性は、現在操業中の鉱山、開発段階の異なる既知鉱床、そして既知の鉱化帯全域にわたる高い探鉱ポテンシャルを備えた、強固な資源産業の形成につながっています。

タスマニアの鉱物資源の賦存は、少なくとも4つの異なる経済的鉱化作用の時期によって形づくられてきました。これらの各段階は、鉱物資源の重複的な形成、濃集、ならびに品位向上に寄与しています。

こうした地質プロセスにより、重要鉱物および戦略的素材が集中的に形成され、タスマニアは資源開発および投資における有力な目的地として位置付けられています。²

タスマニアにおける4つの主要な経済的鉱化作用の時期

↑ 地質	新生代	重鉱物砂(チタン)、イオン吸着型粘土鉱床中のレアアース(希土類元素)、ポーキサイトおよび粘土鉱床
	デボン紀	スズ、タングステン、アンチモン、蛍石、磁鉄鉱、ヒ素、ビスマス、金、ニッケル鉱床
	カンブリア紀	卑金属・金、レアアース(希土類元素)、銅、コバルト、ニッケル、白金族元素(PGM)、クロム鉄鉱床
	原生代	シリカ、マグネサイト、磁鉄鉱、銅鉱床

2. www.mrt.tas.gov.au/products/publications/the_geology_and_mineral_deposits_of_tasmania_a_summary

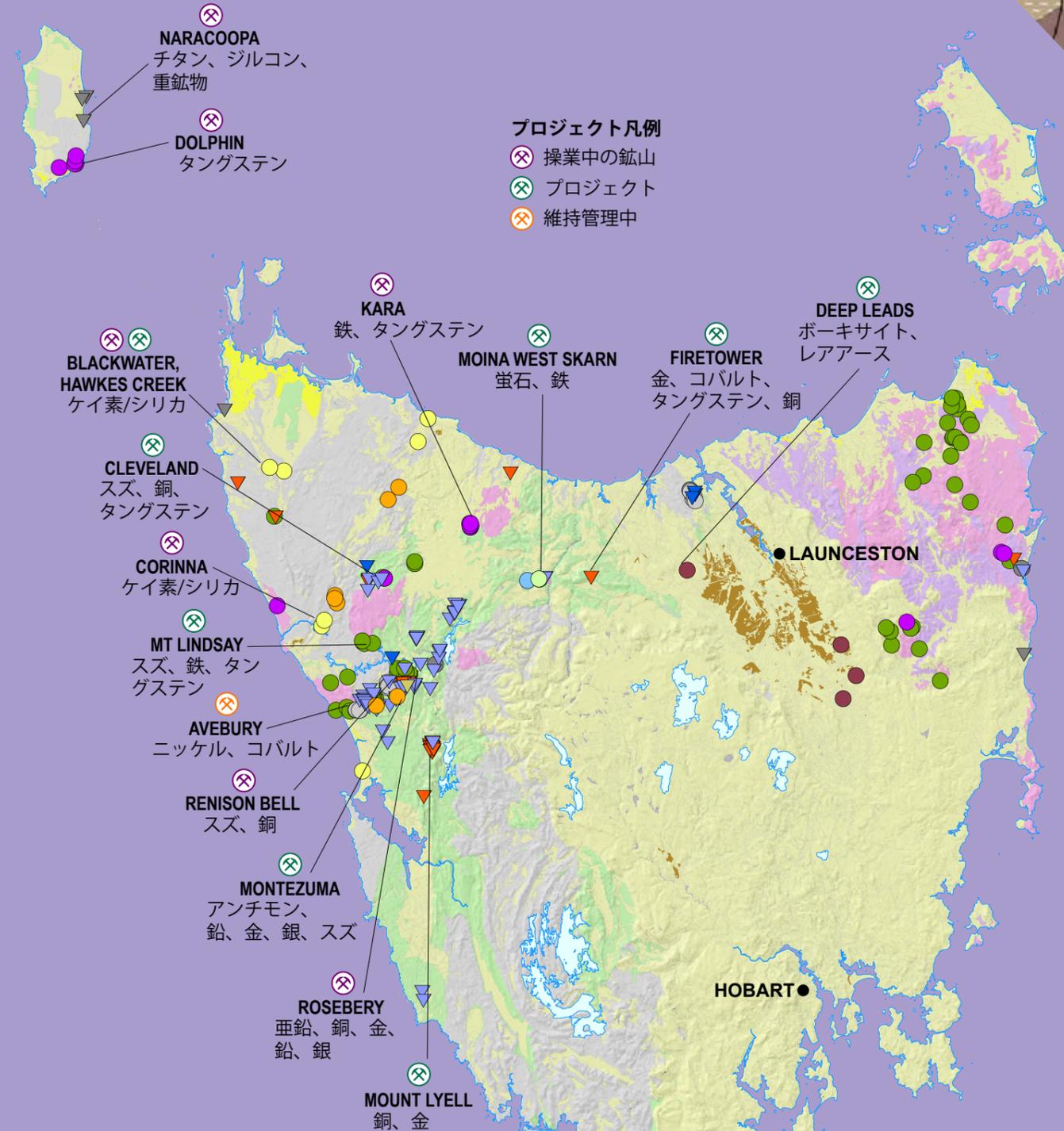
タスマニアの重要鉱物および戦略的素材資源

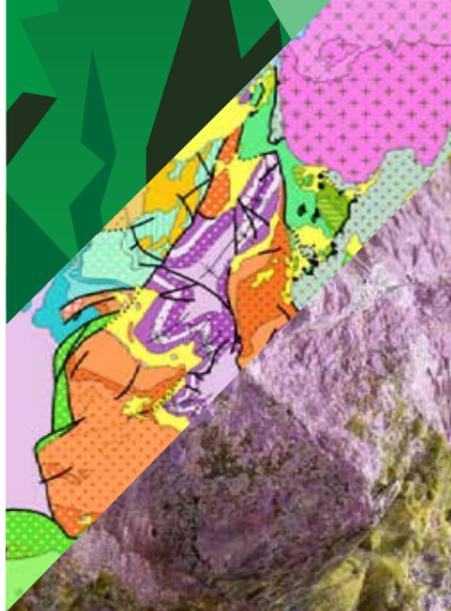
重要鉱物および戦略的素材

- | | |
|------------------|----------------------|
| ● ヒ素 | ■ 重鉱物砂 |
| ● ボーキサイト ± レアアース | ■ レアアース |
| ● ビスマス | ▼ 銅 |
| ● フッ素 (蛍石) | ▼ 亜鉛 |
| ● ケイ素 (シリカ) | ▼ アンチモン |
| ● マンガン | ▼ チタンおよびジルコニウム (重鉱物) |
| ● タングステン | ▼ 白金族元素 (PGE) およびクロム |
| ● ニッケル | |
| ● スズ | |

地質凡例

- | |
|-----------------------------------|
| ■ 石炭紀後期以降の地層: 堆積岩、ドレライト、玄武岩 |
| ■ デボン紀～石炭紀の花崗岩類および火砕岩 |
| ■ オルドビス紀～デボン紀の堆積岩 |
| ■ カンブリア紀の地層: 火山岩、堆積岩、苦鉄質～超苦鉄質複合岩体 |
| ■ 原生代の地層: 変成堆積岩および花崗岩類 |





競合前データセット

タスマニア州鉱物資源局 (Mineral Resources Tasmania: MRT) は、探鉱および土地利用計画を支援するため、詳細かつ高解像度の地球科学データを提供しています。これらの競合前データセットは、探鉱、意思決定、投資に伴うリスクを低減します。提供データには以下が含まれます。



包括的な地質図



鉱物賦存データ



三次元地質モデル



物理探査データセット

ボーリングおよび地球化学データセット



タスマニアの地質に関する無償で利用可能な情報は、鉱物資源局 (MRT) 内のタスマニア地質調査機関により、複数の形で提供されています。

TIGER (Tasmanian Information on Geoscience and Exploration Resources) システムは、地域に関する高品質な地球科学情報を収集、管理、統合し、提供するデータベースです。このシステムは、タスマニアにおけるすべての競合前データにアクセスできるワンストップ・プラットフォームとなっています。

また、MRTマップビューアは、幅広い地球科学データを直感的に操作・閲覧できるもう一つの有用なツールです。

TIGERデータベースおよびMRTマップビューアは、以下のサイトから利用可能です。

www.mrt.tas.gov.au/products

資源管理と持続可能性

タスマニアは、経済発展と環境保全の間で、稀有なバランスを実現しています。同州の経済は、鉱業、農業、林業、観光、ホスピタリティ産業など多様な分野から成り立っており、タスマニア州政府は、鉱業が自然環境の保全と両立して発展するよう継続的に取り組んでいます。これは、自然環境への影響を最小限に抑える均衡の取れた土地利用政策と、排出削減に向けた政府および産業界の継続的な取り組みによって実現されています。

再生可能エネルギー

タスマニアは、年間の電力需要を100%再生可能エネルギーによる発電能力で賄うことが可能な、オーストラリア初の州です。これは主に水力発電システムによるもので、平均的な年においてタスマニアの電力の80%以上を供給しており、州のエネルギーシステムの中核を成しています。³ 山岳地形、多数の河川、そして豊富な降雨量により、タスマニアは自然資源の力を最大限に活用した再生可能エネルギーの供給が可能です。

さらに、タスマニアのエネルギーミックスには、風力発電、蓄電池、太陽光発電も含まれており、鉱業および鉱物加工向けに、コスト効率が高く環境的に持続可能な電力供給オプションを提供し

ています。⁴ また、タスマニアは2040年までに再生可能エネルギー発電能力を200%に拡大する目標 (再生可能エネルギー・ターゲット) を掲げています。

タスマニア州内の鉱物プロジェクトは、低排出型の鉱業活動を通じて、持続可能性目標およびESG目標の達成に積極的に貢献することが可能です。

エネルギー安全保障

タスマニアは、海底送電ケーブル「バスリンク」を通じてオーストラリア本土と接続されており、これにより高いエネルギー安全保障を確保しています。バスリンクにより、タスマニアはビクトリア州との間で電力取引を行うことができ、再生可能エネルギーの余剰時には送電し、需要が高い場合や水力発電量が低下した場合には受電することが可能です。

このほか、タスマニアにはベル・ベイ・ガス火力発電所もあって、干ばつ時やエネルギー危機時など、水力発電を補完する必要がある場合に限定して使用されます。これらの仕組みにより、タスマニアでは安定的かつ信頼性の高いエネルギー供給が確保されています。⁵

3. www.aemc.gov.au/energy-system/electricity/changing-generation-mix/tasmania

4. www.refcit.tas.gov.au/what_is_refcit/energy_vision/100_target_achievement

5. www.apa.com.au/operations-and-projects/electricity-transmission/electricity-interconnectors/basslink

循環型経済における新たなイノベーション

新たな採鉱、精錬、リサイクル技術によって、タスマニアは重要鉱物の供給源を多様化させる可能性を有しています。⁶ イオン吸着型粘土の処理や、尾鉱（テーリング）の再処理といった新技術は、タスマニアの産業界が現在取り組んでいるイノベーションの一例です。

従来は廃棄されてきた尾鉱について、採鉱事業者や操業者は、回収可能な鉱物資源の供給源として再評価を進めています。イオン吸着型粘土には、価値の高いレアアース（希土類元素）が含まれている場合が多く、これらを効率的に処理することで、環境への影響を抑えつつ、資源利用の最大化が可能となります。

経済的ポテンシャルを有する歴史的な尾鉱施設は、MRTの競合前データセットにも記載されています。

尾鉱施設における鉱物賦存例

1. クリーブランド鉱山 北部尾鉱ダム（スズ、銅、タングステン）
2. レニソン・ベル尾鉱（スズ）
3. キング・アイランド・シーライト（タングステン）
4. レイザーバック尾鉱（スズ）

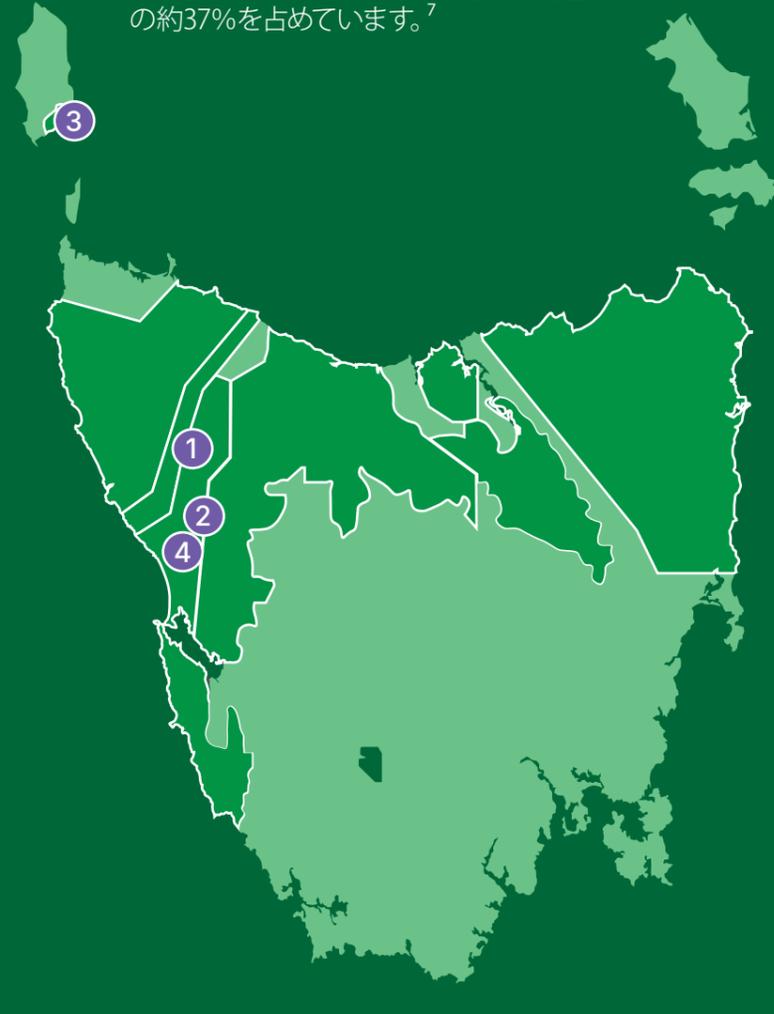
● 尾鉱施設

■ 戦略的探鉱有望地域

これらの取り組みは、廃棄物の削減、資源の有効活用、副産物からの価値創出といった、循環型経済の中核原則を体現するものです。

戦略的探鉱有望地域

戦略的探鉱有望地域とは、鉱物資源ポテンシャルが高いと特定された区域です。これらの区域では、国有地において、探鉱および採鉱活動への継続的かつ安定したアクセスが確保されています。指定された区域は、タスマニア州内で利用可能な土地全体の約37%を占めています。⁷



インフラ

タスマニアは、高度に整備されたインフラネットワークと輸送システムを有しており、円滑な物流を実現しています。島嶼州という地理的特性により、州内の流通ネットワークは迅速かつ効率的であり、海上輸送および航空輸送を通じて、オーストラリア本土および国際市場と良好に接続されています。

州内の港湾は、多くの場合、生産拠点から100km以内に立地しています。専用の鉄道ネットワークと高頻度の海上輸送サービスにより、サプライチェーンは効率化されており、航空貨物の場合、海外市場へ48時間以内に到達することが可能です。これらの確立された貿易ネットワークに加え、主要なアジア市場に近接するというオーストラリアの地理的優位性は、強力なビジネス機会を提供します。さらに、タスマニアには即時利用可能な産業団地が整備されており、新たに事業拠点の設立を検討する企業にとって魅力的な環境が整っています。⁸

鉄道会社タスレールは、鉱山から港湾までを結ぶ統合的で効率的、かつ持続可能な貨物輸送ソリューションを提供することで、タスマニアの鉱業産業を支える重要な役割を担っています。同社の西海岸鉄道サービスは、港湾内の保管施設および船舶積込設備と直接接続しており、鉱物精鉱およびバルク鉱物の輸出輸送を効率化しています。

また、タスネットワークス社が運営する送電ネットワークは、発電拠点と主要な鉱業集積地、特に鉱物資源が豊富な北西部地域を結び、州内鉱業への安定した電力供給を支えています。

バーニー港 バルク鉱物輸出施設

タスマニア州政府は、鉱物サプライチェーン全体を支援するため、重点的な投資を進めています。その一例として、2024年には、タスマニア州のバーニー港において、8,200万豪ドルを投じたバルク鉱物輸出施設の大規模な更新工事が完了しました。このプロジェクトには、最先端の船舶積込装置の導入が含まれています。⁹

本事業では、1969年に整備された老朽化インフラを更新し、新たに4基のホッパー、最新型の回収システム、道路および鉄道ネットワークとシームレスに接続する栈橋ギャラリー・コンベヤを導入しました。

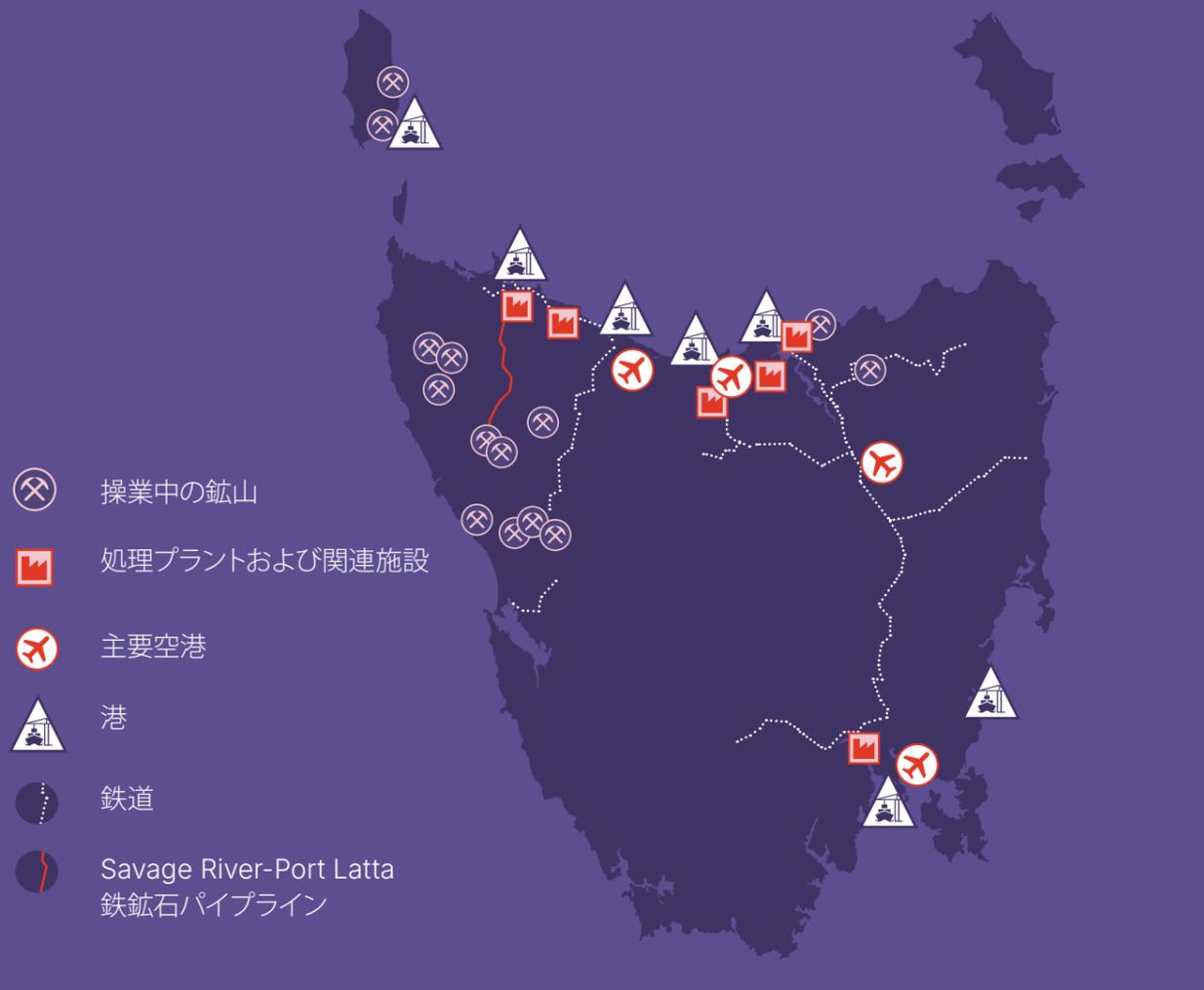
新設された船舶積込装置は、従来の2倍となる最大毎時2,000トンの積込能力を有しており、地域の鉱業における物流生産性を大幅に向上させるとともに、運営コストの削減に貢献しています。この投資は、タスマニアのサプライチェーンの強靱性を高め、500人以上の雇用を支えるとともに、州経済の発展における重要な節目となっています。本施設は、鉱業に対して高い信頼性を提供するだけでなく、環境面および安全面でのメリットも備えています。

6. <https://iea.blob.core.windows.net/assets/a33abe2e-f799-4787-b09b-2484a6f5a8e4/GlobalCriticalMineralsOutlook2025.pdf>

7. www.abs.gov.au/ausstats/abs@.nsf/Previousproducts/C620F52A5DC5D08FCA25710E0075625B

8. www.cg.tas.gov.au/investment_opportunities/why_tasmania/impressive_infrastructure

9. www.tasrail.com.au/shiploader-project/



州内加工

タスマニアには、鉱物加工および先進製造業の確立された基盤があり、再生可能エネルギー、港湾、道路、鉄道インフラへのアクセスを備えた既存の産業団地が整備されています。タスマニア北部に位置するリパティ・ベル・ベイは、フェロマンガンおよびシリコマンガンの主要生産拠点であり、オーストラリア国内で唯一の商業規模のフェロアロイ操業を行っています。¹⁰ フェロアロイは主に鉄鋼製造に使用されるほか、航空宇宙分野や軍事用途向けの特種合金にも利用されています。

また、タスマニア南部に位置するナイスタール亜鉛製錬所は、主として亜鉛を生産しており、1916年から操業を続けています。現在、ナイスタールでは、亜鉛製錬プロセスの副産物として、重要鉱物であるゲ

ルマニウムおよびインジウムを回収する可能性について、実現可能性の検討が進められています。¹¹ インジウムは、スマートフォンのディスプレイ、再生可能エネルギー技術、各種先端技術に不可欠な素材です。ゲルマニウムは、その特有の赤外線特性により、主に防衛分野において熱画像（サーマルイメージング）用途で使用されています。

これらの確立された鉱物加工および先進製造業は、将来的に重要鉱物の加工能力を拡大するための基盤を、タスマニアが十分に備えていることを示しています。タスマニア州政府は、将来の加工ニーズに対応するため、既存の産業団地を引き続き支援していく方針です。

10. <https://libertysteeltgroup.com/our-operations/liberty-steel-australia/>

11. www.nyrstar.com/resource-center/press-releases/transitionary-funding-secured-for-nyrstar-australias-critical-metals-processing

協業およびパートナーシップ

タスマニアには、産業界のリーダー、研究者、政府機関が緊密に連携するネットワークが存在しており、州の重要鉱物分野の発展に向けて一体となって取り組んでいます。

CODES (鉱床・地球科学研究センター)

CODES (Centre for Ore Deposit and Earth Sciences) は、タスマニア大学を拠点とする、世界的に評価の高い研究拠点です。鉱床研究の分野における中核的研究機関として、鉱物探査、地球科学、持続可能な鉱業慣行、地球化学・分析手法に重点を置いた研究を行っています。CODESの研究活動は世界35か国に展開され、経済地質学分野における国際的リーダーとしての地位を確立しています。同センターは、次世代の地球科学者の育成および高度な分析サービスの提供を通じて、鉱業分野に最先端の知見をもたらしています。

また、CODESは産業パートナープログラムを提供しており、個人から多国籍企業まで、幅広い研究および研修ニーズに対応しています。CODESについて、また産業パートナーになる方法については、以下をご覧ください。

www.utas.edu.au/codes/home

モーニントン・コア・ライブラリー

MRTIは、ホバート東郊のモーニントンにコア・ライブラリーを運営しています。ここには、初期の探鉱活動から現在に至るまで、タスマニアの鉱業および探鉱の歴史を物語るボーリングコア、岩石標本、歴史的コレクションが保管されています。これらの資料は、1995年鉱物資源開発法

12. www.mrt.tas.gov.au/products/services/mornington_core_library/viewing_requests

13. <https://tmecc.com.au/>

(Mineral Resources Development Act 1995) に基づき、将来世代に価値を引き継ぐため、厳格に保存・管理されています。¹²

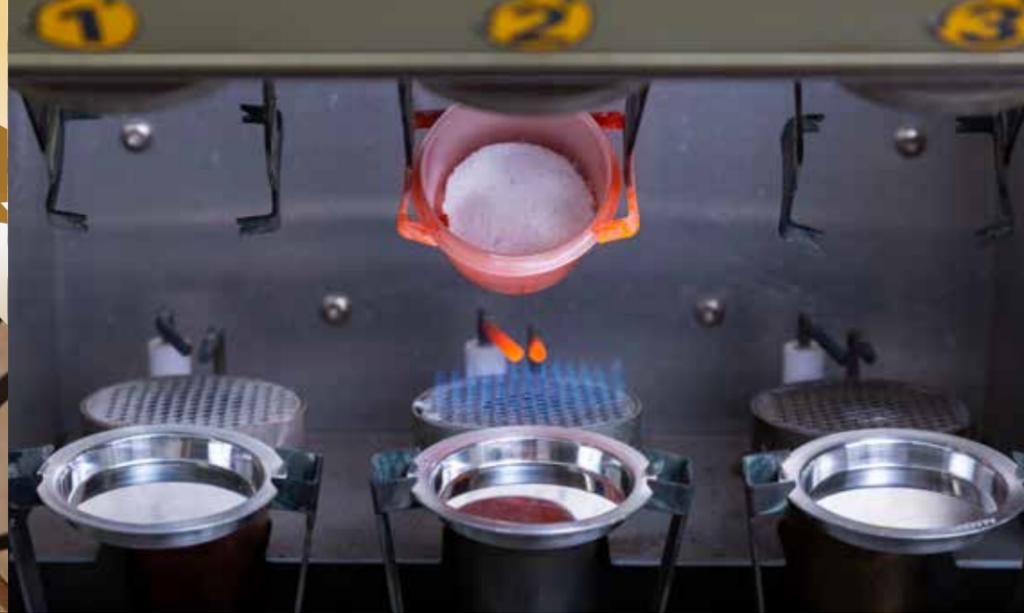
業界関係者、大学、研究機関は、切断・分析設備、地質データベース、作業スペースの支援を受けながら、これらの資料の閲覧およびサンプリングを行うことができます。MRTIは、ドリルコア、掘削チップおよび手採取試料を対象として、HyLoggerを用いた分光解析サービスも提供しています。このシステムは、オーストラリアの国立科学機関であるCSIROによって開発されたもので、鉱物組成を迅速に記録し、高解像度のデジタル画像を取得することで、地質学者によるコア解釈を支援します。

熟練した労働力

タスマニアの鉱業労働力は、高い適応力と技術力で知られています。長い鉱業の歴史を背景に、産業界と政府の強固な連携を通じて、教育・研修の体系が整備され、世代を超えて高度な技能を持つ人材が育成されてきました。

TMEC

タスマニア鉱業・製造・エネルギー評議会 (TMEC: Tasmanian Minerals, Manufacturing and Energy Council) は、タスマニアにおける鉱業、製造業、エネルギー分野を代表する業界団体です。TMECは、これらの産業における企業および労働者を支援するため、人材育成およびイノベーションに重点を置いた活動を行っています。同評議会は、「タスマニア鉱業パスウェイ・パスポート (Tasmanian Mining Pathways Passport)」などのプログラムを運営し、労働者の技能向上と産業全体の強化を図っています。¹³



投資を支援する政府体制

歴代のタスマニア州政府は、ソブリンリスクを最小化し、鉱業の発展を促進するとともに環境を保護する政策および法制度を通じて、鉱業振興に積極的に取り組んできました。また、重要鉱物プロジェクトの開発を加速させるための施策も講じています。

2024年、タスマニア州政府は重要鉱物イニシアチブ (Critical Minerals Initiative) として、3年間で300万豪ドルの拠出を決定しました。この資金は、タスマニアにおける重要鉱物分野を支援するための研究および調査に充てられます。

さらに、MRT内のタスマニア地質調査機関による、公開地質・物理探査データの継続的な収集および維持管理、地質マッピング事業、研究プロジェクト、モーニントン・コア・ライブラリーの拡充、新たな分析機器の導入、ならびに探鉱ボーリング助成制度 (Exploration Drilling Grant Initiative: EDGI) を通じた探鉱ボーリングへの共同出資に対して、重点的な資金配分が行われています。

鉱業はタスマニアにおける主要な輸出産業の一つです。2025年には、州経済に28億豪ドル以上をもたらし、約6,000人の雇用を創出しました。

タスマニア州政府は、健全な鉱業産業が持つ経済的重要性を認識しており、将来の鉱業プロジェクトに対して強力な政策的支援を提供しています。

現行の政府主導プログラム

タスマニア州政府は、探鉱ボーリング助成制度 (EDGI) を通じて、共同出資による探鉱ボーリングプロジェクトを支援しています。本制度は、タスマニア全域におけるグリーンフィールド探鉱を促進することを目的としており、2024年版オーストラリア重要鉱物リストに掲載されている鉱物を優先対象としています。

10年間で500万豪ドルの予算を投じる本イニシアチブは、同分野における投資および新規発見の促進を目指しています。本プログラムの運営・管理は、MRTが担っています。¹⁴

2018年後半の制度開始以降、EDGIによる共同出資ボーリングは、タスマニアで操業する多数の探鉱事業者のプロジェクトにおいて、貴重な地質情報の創出に貢献してきました。

また、EDGIプログラムは教育分野にも寄与しており、すべてのボーリングコアおよび試料は、6か月の守秘期間終了後、モーニントンのMRTコア・ライブラリーに保管され、一般公開およびサンプリングが可能となります。

EDGIプログラムによる主な成果

EDGI 第6ラウンド (2022年)	ABx Groupによる、デロレイン近郊に位置するディープ・リーズ - ラブル・マウンド・レアアース鉱床周辺での探鉱ボーリングは、粘土型レアアース鉱床における重要な資源量推定の確立に寄与しました。
EDGI 第8ラウンド (2023年)	Stellar Resources社のノース・スカマンダー鉱区において、高品位のスズおよび卑金属鉱化帯の新たなゾーンが確認され、インジウムおよびガリウムの異常値も検出されました。
EDGI 第9ラウンド (2024年)	Elementos社は、歴史的なクリーブランド鉱山の深部において、フォーリー・ゾーンがタングステン、フッ素、ルビジウム、モリブデン、ビスマスの大規模鉱床を胚胎する可能性を示しました。

14. www.mrt.tas.gov.au/exploration/exploration-drilling-grant-initiative-round-11



個別支援による事業開始

運営統括事務局(OCG)

運営統括事務局(OCG)は、タスマニアでの新規進出、事業拡大、または拠点移転を検討するすべての企業にとって、最初の窓口となる機関です。OCGの専門チームは、投資家候補と連携し、個別対応かつ機密性の高い支援を提供しています。

OCGは、以下の支援を通じて企業をサポートします。

- タスマニア産業の能力や特長に関する情報提供。具体的な事業機会、投資規制法制度、行政支援に関する情報提供(事業計画・ビジネスケース策定の支援を含む)
- 投資家が最も条件に合ったタスマニア地所を選ぶためのお手伝い
- タスマニア訪問の調整、行程作成支援、関係者との面談手配

- 地元業者、政府省庁、ジョイントベンチャー候補などに紹介
- 連邦政府、州政府、地方自治体など、各レベルの政府による財政支援制度の特定
- 輸出市場へのアクセス支援

鉱物探鉱プロセス

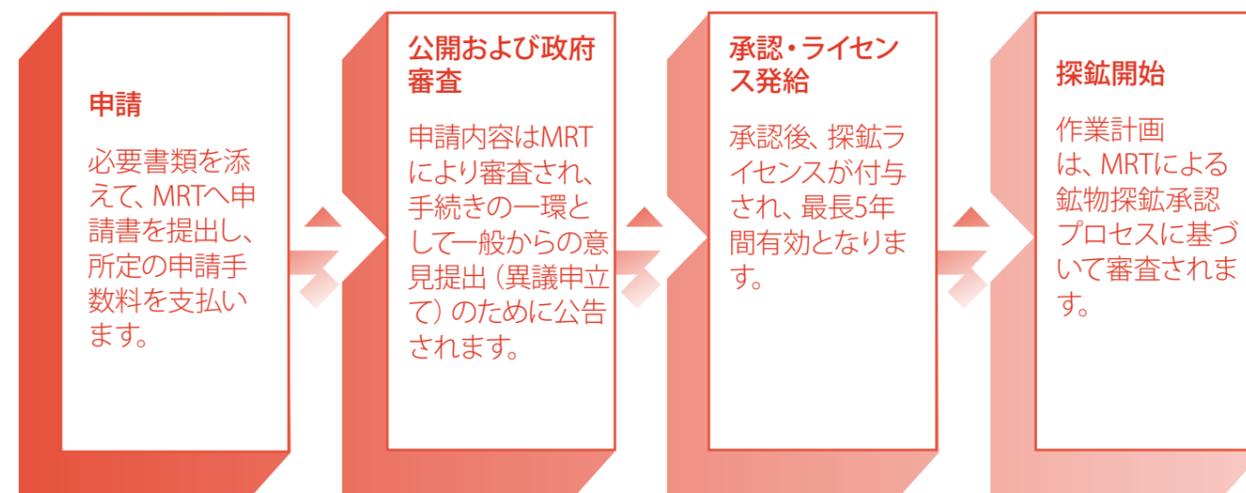
タスマニアにおける鉱物探鉱は、簡潔かつ効率的なプロセスとして整備されています。探鉱は、タスマニア州政府内の部局である鉱物資源局(MRT)によって管理されており、同機関は鉱物および石油探鉱の規制を行うとともに、最新の地球科学情報を提供しています。

州の規模が比較的小さいことから、政府機関、規制当局、各種支援サービスへのアクセスが容易である点も大きな特長です。そのため、タスマニアにおける探鉱活動は、他の法域と比較して、手続きが簡素で予見性が高いものとなっています。

以下のインフォグラフィックでは、探鉱申請および承認に至るまでのプロセスが示されています。

より詳しい情報は以下をご覧ください。

www.mrt.tas.gov.au/exploration/exploration_licences



申請

必要書類を添えて、MRTへ申請書を提出し、所定の申請手数料を支払います。

公開および政府審査

申請内容はMRTにより審査され、手続きの一環として一般からの意見提出(異議申立て)のために公告されます。

承認・ライセンス発給

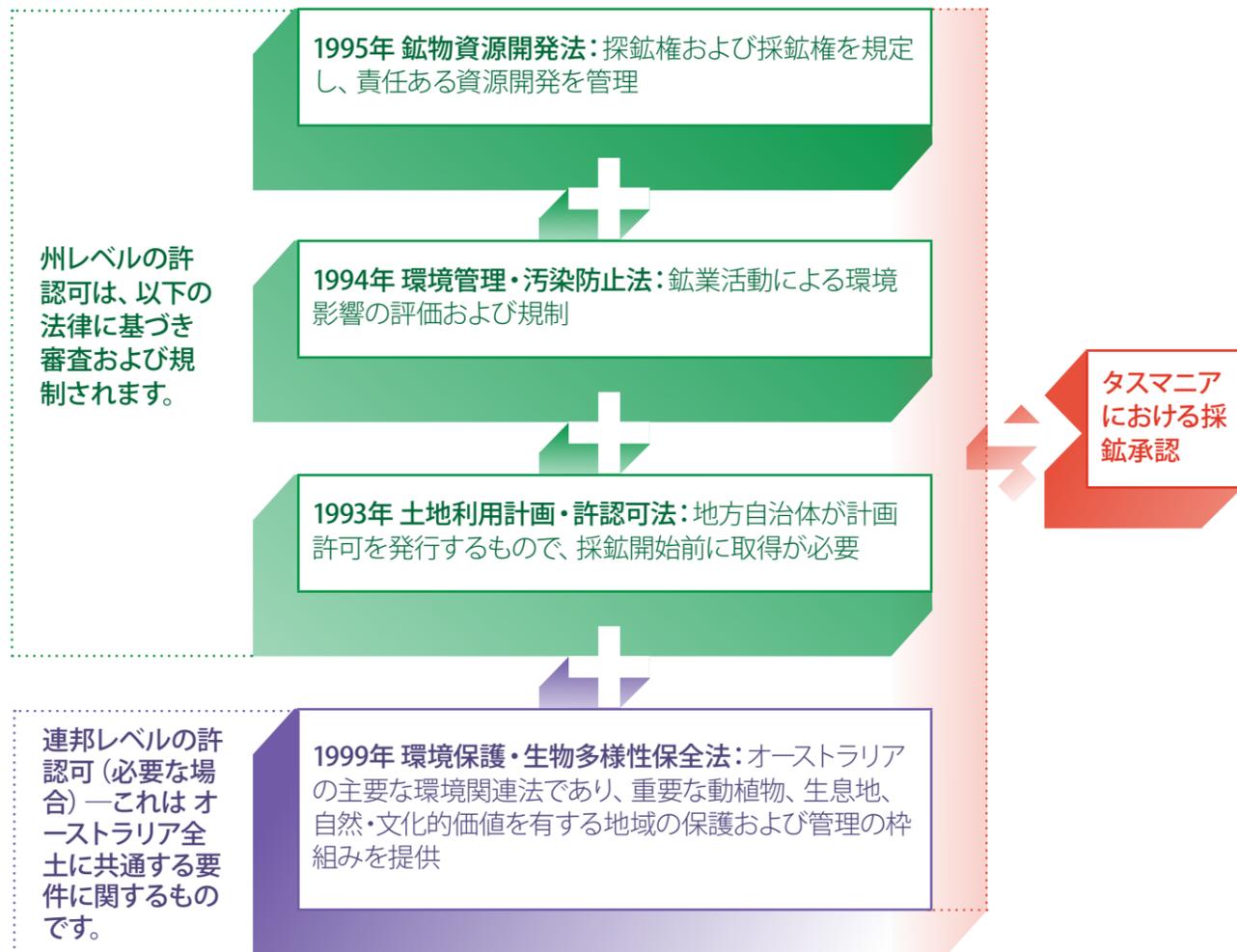
承認後、探鉱ライセンスが付与され、最長5年間有効となります。

探鉱開始

作業計画は、MRTによる鉱物探鉱承認プロセスに基づいて審査されます。

採鉱に関する許認可プロセス

タスマニアにおける鉱山開発は、州法およびオーストラリア連邦法から成る、長年にわたり確立された法制度の枠組みに基づいて規制されています。タスマニアで採鉱を開始するには、以下の各法令に基づく承認を取得する必要があります。



申請処理の平均所要期間

- 採鉱権 (Mining lease) : 約6~9か月
- 探鉱ライセンス (Exploration licence) : 約8~10か月

これらの期間は、申請内容の複雑性、申請の種類、提出情報の充実度、ならびにタスマニア州における当時の申請件数・活動状況によって変動します。

連絡先

運営統括事務局(OCG)

一般的な問い合わせ、関連政府機関についてのガイダンス

ウェブサイト: www.cg.tas.gov.au
 電話: (03) 6777 2786
 Eメール: cg@cg.tas.gov.au

タスマニア州鉱物資源局 (MRT)

申請・許認可手続きについての問い合わせ

ウェブサイト: www.mrt.tas.gov.au
 Eメール: mrt.info@stategrowth.tas.gov.au

環境保護局 (EPA)

EPA Tasmania は、タスマニア州における環境規制当局です。環境規制に関する情報提供やガイダンスの要請は、産業規制部門 (Industrial Regulation Branch) に問い合わせることができます。

ウェブサイト: <https://epa.tas.gov.au>
 電話: (03) 6165 4599
 Eメール: Enquiries@epa.tas.gov.au

連絡先

タスマニア州鉱物資源局

PO Box 56, Rosny Park
TAS 7018

電話：(03) 6165 4800

Eメール：info@mrt.tas.gov.au

2025年11月現在。EcoStar 100%リサイクル紙に印刷。

